

家庭学習の充実に向けてのポイント「家庭学習、やってよかった！」

家庭学習のケース①

生徒が**学習の見通しを立てて**予習をする機会を設ける。

予習の目的を明確に

例えば…

- ・この単元を通して
 - ・次の授業では
- ～について考えていくので、そのために～してきてください。

この単元を通して、江戸幕府が長く続いた理由を考えていくので、教科書を見てから長続きの要因になる政策と考えられるものをノートに箇条書きにきてね。

例



次の授業では、地域おこしの目的を考えていくから、高知県内の地域おこしから1つ選んで、どんな取組か調べてきてね。

予習したことが授業での思考の材料となったり、**主体的に取り組める要因**になったりする。

家庭学習のケース②

生徒が**学習の内容を振り返って**復習をする機会を設ける。

授業とは別の問い方で

- ・知識や技能の定着
 - ・異なる視点からの思考
 - ・自分の社会への関わり
- について、学習した内容を活用して答える問題や課題を設定する。

今日学習した江戸幕府の政策の中から、あなたが失敗だと考えるものを選んで、どうしてそう考えたのか、理由も書いてきてね。

例



今日学習した地域おこしの目的をふまえて、龍馬マラソンがどのように雇用とつながっているか、調べたり考えたりしたことを書いてきてね。

学習の内容を振り返って活用することで、さらに調べたいことや新たにわいた疑問に取り組む**意欲の向上**につながる。